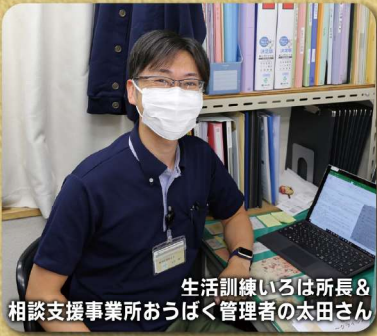




常仁会 ドキュメント The 舞台裏

第25回 当院の舞台裏を潜入レポートする本企画。今回は特集記事に登場した「生活訓練いろは」の所長をつとめる太田さんの一日を密着取材しました。



生活訓練いろは所長 & 相談支援事業所おうばく管理者の太田さん

ご登場いただく太田さん、実は本誌27号でも精神保健福祉士の一日を密着取材して、今回は二回目の密着である。
今回は就任された「いろは」所長としての顔を拝見すべく、新たな気持ちでお伺いしたいと思う。

「いろは」の一日はどんなものか？ さっそく太田さんに突撃してみた。

朝の「いろは」にお伺い

朝8時半の始業にあわせて伺うと、太田さんは満面の笑みで待ち構えてくださっていました。

「またもや密着させていただきます。よろしくお願いします！」

「おはようございます。あ、もう朝礼が始まりますわ」

朝からお忙しそうな現場であるが、朝礼であれば5分程度で終わるだろうと高をくくっていたら

甘かった。報告や話し合いが丁寧に行われ、終わったのは小一時間後。
「ずいぶん長時間されるんですね。毎日の朝礼でしっかりと情報共有するよう心がけているんです」

通所が不安定になっている利用者さんや、新たな仕事に就いた利用者さん等をはじめとして、個々のケースについてスタッフがしっかりと把握しておくことが現場でのよりよい支援につながるのだ。



一時間にわたる朝礼の様子

朝礼が終わるやいなや、「じゃあ、まずは米炊きのほうから撮ってもらいましょうか」と言って2階にあがっていく太田さん。

まずは米炊きから

着いていった先には、お米を研ぐ男性の姿が。「こちら、アルバイトの山村さん。朝の米炊きをお願いすることが多く、炊いたご飯を利用者さんの昼食に出しているんです。惣菜は業者さんに注文しています」

「おはようございます。あ、もう朝礼が始まりますわ」



米炊きをするスタッフ山村さん

休憩スペースの運用方針

ついでに2階の部屋を案内していただく。「こちらは休憩室です。利用者の皆さんは原則、1階のホールで過ごしていただくんですけど、どうしても集団がしんどいという時には、ここで一人になってもいいです」

「ただ、ここで一日ずっと過ごされると訓練にならないので、あくまでも一時的な避難場所として運用しています」

調子の悪い利用者さんのことをおもんばかりながらも、ご本人の成長につながることを常に忘れない太田さん。

「休憩室までには必要ないけれど、ちょっと休みたいという人には、こちらの1階スペースを使ってもらいます」



絶妙な1階スペース



2階の休憩室

このスペースは1階ホールの隣にあり、ホールで過ごす利用者さん達の声が聞こえたり、様子が伺われたりする。2階休憩室に比べて、対人的な刺激を程よく受けるので、社会的参加の訓練に適した絶妙な休憩場所なのだ。

午前のプログラムに参加

この日は10時半から午前のプログラムを担当される太田さん。

プログラム内容は日によってさまざまですが、ストレッチなどの運動系もあれば、絵しりとりなどのゲーム系、合奏などの音楽系、ミサ

ンガ作りなどの創作系もあって、バリエーション盛りだくさんだ。
本日のプログラムは勉強系で、「なんでも勉強会」クイズスプランとのこと。



1階ホールにて開催されるプログラム

「勉強会」では太田さんが司会進行を担って、調子が悪くなってきたときの対処法や、ストレッチ解消法について、理解を深めるための講義を進めていく。

お待ちかねのランチタイム

その際、利用者から意見を積極的に聞きながら、利用者同士のディスカッションも設けるなど、みんなが積極的に学べる参加型の勉強会を心がけてらっしゃるのが印象的だった。

午前プログラムが終わるとお昼時、皆さんのランチタイムだ。今度はアルバイトの森さんが出てこられ、炊きあがったご飯を茶碗によそって、利用者さんたちに配っていく。

業者さんに注文した惣菜も届いていて、こちらもお皿に盛りつけられてく。ちなみに本日は、ブロッコリーとツナのサラダ、おから